

一般質問



古庄 信一郎 議員

### PPP等の導入推進で行革を 答弁／危機感を持って考える

古庄 パブル期に建てた公共施設やインフラが老朽化し、この問題に国を挙げて対応するため、PPP、PFIの推進と法制度の改正が行われた。自治体も施策にどう展開できるか考え始めている。志免町での導入可能な事業は。

福祉課長 望山 荘。

総務課長 橋の 改修工事。

古庄 全国では学童保育、歴史資料館、学校のプール、水道事業他沢山の事例がある。

隣の粕屋町では今年4月から給食の全てをPFIで行い、結果3億2千600万円の経費削減となる。志免庁舎

があと何年持つのか。いろんな事業がある訳で、町長はリーダーシップを取ってやるべき。

町長 今やそのような時代が既に来ている事を職員と一緒に考えている。危機感を持って真剣に考えたい。

古庄 新たな行財政改革は、自治体の業務領域を整理し直す必要がある。各窓口事務とか専門提携業務をアウトソーシング、外部委託・発注を積極的に推進すべき。



57年に建てた庁舎

町長 今から持続可能な町村となるためには、住民の理解と合意形成を図りながら出来る事から進める。

### 福岡市との連携のメリットは

### 答弁／経済成長と高度なサービス

古庄 私は自治体の行財政改革の最たるものは合併と想っているが、今回の改正地方自治法での地方中核拠点都市との連携協約導入を行った場合、志免町のメリットは。

経営企画課長 福岡市が経済成長のエンジンとなり、粕屋地区の経済を牽引、また高度専門的なサービスが提供されたり、生活関連機能サービスの向上等がある。

古庄 大都市への人口流出が続けば全国で900の自治体が将来消滅するとの調査報道もあるが、合併への所見は。

町長 ショッキングな報道だ。合併は、条件の良いところ同士が合併しておれば、更に良くなったのではと思う。